

柏市男女共同参画推進審議会からの意見

柏市男女共同参画推進審議会は、柏市附属機関設置条例により位置づけられ、男女共同参画に関する総合的な施策の推進に関する審議を行うこととなっています。

そのため、計画に基く施策や進行状況について、各委員の所属や活動の領域や関心事項について、それぞれの立場から意見をお出しします。

1 総合意見

男女共同参画の推進が、国の将来のあり方を大きく左右することが改めて認識され、経済界を巻き込み国を挙げて取り組もうという気運が高まる中、市の担う役割はますます大きくなっている。

人権、教育・学習、家庭・地域、就労、社会参画と多岐にわたる課題に対し、各部署が男女共同参画の視点を持ち、主体的に或いは横断的に、全庁的な取り組みとすることを要望する。

2 各課題についての意見

(1) DV対策について

DVに関する相談件数が著しく増加している中で、今後どのような対応をしていくのか、配偶者暴力相談支援センター設置の有無も含め、計画策定を検討していただきたい。

(2) 女性の就労支援について

パソコン講座等、女性が多く参加している事業はあるが、女性に特化した取り組みが行われていない。

子育て中の女性も参加しやすいように託児サービスを行ったり、在宅でも受講できるような仕組みづくりに取り組んでいただきたい。

また、実際の就職に繋がるような支援にも期待したい。

(3) 審議会等における女性委員の登用について

女性委員の割合の平均値は目標を達成しているものの、女性委員が一人もいない、或いは男女の偏りの大きい審議会等があるため、引き続き男女双方の参画に努められたい。

特に、女性の参画が後退している審議会等については、更なる女性委員の登用に取り組んでいただきたい。

(4) 管理職の女性割合について

少子高齢化が進む中、誰もが住みよい柏市を将来にわたって持続させるためには、女性職員の能力の活用は必須である。

市でも一定の取り組みはされているが、それでも女性割合が上がらない原因がどこにあるのかという分析は十分とはいえない。

現状をよく分析した上で、女性職員のキャリア形成のための具体的な方策をたてて取り組んでいただきたい。

(5) 次期推進計画について

これまでの進行状況や、今年度実施した市民意識調査の結果をよく分析し、平成28年度からの次期計画にしっかりと反映させていただきたい。